

えふあい通信

-2018 秋-



～もくじ～



1. FIWC 九州について
2. 委員長挨拶
3. キャンプ紹介
4. 国内イベント報告
5. 役員後期目標



1. FIWC 九州について

FIWC とは、フレンズ国際ワークキャンプ (Friends International Work Camp) の略称である。第二次世界大戦後復興のため、アメリカ・フレンズ奉仕団 (AFSC) がワークキャンプを日本で実施した。そして、1950 年代に AFSC から独立し、FIWC が結成された。私たちの FIWC の「フレンズ」はその精神を受け継ごうと意思から採用された。それ以来

FIWC は、国内外でワークキャンプを 60 年以上実施している。現在その支部は全国に広がり、FIWC 関西委員会、関東委員会、東海委員会、九州委員会が活動している。

私たち九州委員会は九州（主に福岡）の大学生が主体となり、学生のみで運営・活動をしており、国外ではフィリピン、中国、ネパール、国内では耶馬溪の農業キャンプや国立ハンセン病療養所などを中心に活動してきている。私たち FIWC は、一般市民・学生による任意の非政府組織 (NGO) であり、いかなる政治・宗教団体とも一切関係のない学生団体である。



2. 委員長挨拶

この4月からFIWC九州委員長という役職に就かせてもらい、役員とともに半年間活動してきました。このような立場で活動させてもらえること、そして私を委員長として受け入れてくれているFIWCのメンバーに、日々感謝しております。

最近ではFIWC九州の規模が大きくなり、外部との関わりが多くなってきました。人数が増えるとともに活気に溢れ、また様々な人との出会いがFIに新たな風を吹かせてくれ、常にFIが前進していることを感じます。しかし一方で、チームとしてまとまることの大変さや、団体が大きくなることで起きる課題にぶつかり悩むことも多くあります。そんな時こそ私が意識するものは、初心を忘れないで些細な一つ一つの出来事や人との関わりを大切にしようということです。困っている人には手を差し伸べる、ひとりぼっちの人に声をかけてみる、誰も見ていないところで頑張っている人がいたら感謝の気持ちをきちんと伝える、そんな小さなひと言や少しの勇気を大切にしたいと思います。どれだけFIWCが大きくなっても、そういったFIの素敵な側面が残ってほしいと思います。

今ある1日1日への感謝の心と共に、残された半年間に私にできることを模索する毎日を過ごす中で、私を心身共に成長させてくれたFIWCという環境をこれからも未来に繋げられるよう、半年と言わずその先も尽力していきます。（九州大学4年 田中ゆう）

3. キャンプ紹介 **チャイナキャンプ**

○概要

期間： 2018年8月10日～2018年9月1日

場所： 中華人民共和国広東省

参加人数： 8名 (FINC九州7名、FINC関東1名)

JIAの学生(中国の団体)



○キャンプテーマ 『Share』

このテーマの意味は村人と様々なことをシェアしたいという気持ちが込められています。楽しい出来事や悲しい出来事を共有したいという思いで、このキャンプテーマになりました。

○キャンプ内容

今回、大きく分けて3つのことを行いました。①高明村でのワークキャンプ、②カンファレンス(会員代表総会)、③儒洞村 visit です。①では村人の健康調査や健康知識に関する説明、近く村を訪れて高明についてどのような印象を持っているのか聞き、高明について説明をしました。そのほかにもパーティーなども行いました。②とはJIAが一年に一度行っている報告会のようなもので、8つある地区の代表の学生が報告を行います。他にも年度方針などもそこで報告されます。③ではパーティーと風鈴作りをして、それをすべての村人にプレゼントしました。



○総括

今回大きな事故やけがもなく無事にキャンプを終えることができました。また初めて中国に行くキャンパーや2,3回目というキャンパーもいて様々でしたが、村人や中国の学生たちと良い関係を築けていたのではないかと思います。

(文責：稲原佑太)





〇活動の目的

今年度の活動の目的は「自立促進を図る」ことです。私達が考える自立促進の定義は、村の活性化、生活水準の向上、自助、互助、共助とし、またこれを目標として本キャンプでは共同生活、共同労働を通して、その目的が達成できるように取り組みます。

〇キャンプ地決定について

今年度は、3つの村で survey を行いました。まず今年度の survey では、生活していく中で必要不可欠である水に目を向け、水の問題を抱えている村を重点的に訪れました。ワークを行うことにより水問題を解決できるということは、全ての村で共通していましたが、その中でサンタローサ村は現在全てのパイプが各家庭に繋がっており、私達が公共のポンプを作ることでその差を是正することに目を向け、今年度はサンタローサ村でワークを行うことに決めました。



〇総括

最初の 2 週間は、昨年度のワーク地であるヒマルコ村に滞在したため、多くの村人が日本人に慣れていているという状況でした。そのような状況の中、新たなサンタローサ村での滞りは最初はなかなか難しいものになりました。しかし、イベントや学校訪問などの機会を通してがむしゃらに村人と関わることで、だんだんと新たな村人として関わってもらえるようになりました。この過程を通して、来年のワークでの成功が確信に変わりました。来年が楽しみです。

(文責：橋本尚樹)

ネパールキャンプ

○概要

期間：8月9日～9月3日

場所：ネパール連邦民主共和国

シンドゥパルチョーク郡

グマンマニサワラ村

人数：10人

ワーク内容：コミュニティーハウス建設



○ワーク内容

今回のワークは、コミュニティーハウスの建設です。前回は、このコミュニティーハウスの屋根の建築を行いました。今回はそのワークを引き継ぎ、階段と壁の建築を行います。以前村にあったコミュニティーハウスは、3年前に発生した大震災によって崩壊しました。村の人々はその再建に乗り出しましたが、基礎と壁の一部を作ったところで、資金が足りず進めることができなかつたため、今年のキャンプから FIWC と協力して、再建に向けて動き出しました。

○キャンプについて

今回の下見キャンプは、前回と同じ村で行うことになりました。そのため、他の村を周ることはせず、グマンマニサワラ村にて、家々を訪問したり、村の人々のコミュニティーハウスに対する思いを聞いたりすることができました。村の人々は、コミュニティーハウスの完成まで、FIWC に協力して欲しいという思いと、昨年に屋根の建築をとものにしたことへの感謝を述べてくれました。

村の人々は皆、とても親切で温かい人ばかりです。家に訪問した際も、皆お茶や、軽食を振舞ってくれました。会うと笑顔で握手して、よく話してくれる人達ばかりです。

皆さん、とても温かい人々がいるこの村でキャンプをしてみませんか？

きっとこの村で得る1ヶ月の経験は、どこでも得ることができないものになります。

ぜひ一緒にキャンプにいきましょう。

(文責：大川峻右)



耶馬溪キャンプ

場所：大分県中津市耶馬溪町

日程：第1回 4月28日(土)、4月29日(日)

第2回 6月26日(土)、6月27日(日)

第3回 10月20日(土)、10月21日(日)

参加人数：30名(毎回新たに募集)



(第1回：苗床作り)



(第2回：田植え)

~~~~~  
年に3回行われる農業キャンプです。大分県の耶馬溪にて、お米作りに携わることができます。第1回目は、苗床作り。第2回目は田植え。第3回目は稲刈りとなっています。FIWCのOBである鈴木さんが管理している田んぼで活動を行っています。2日目の朝から田んぼで活動を行います。その活動の最後には、耶馬溪の方々と一緒にバーベキューをして交流を行なっています。

また1日目の夜には毎回農業に関する社会問題を考えるワークショップを行っており、普段はなかなか考えることができないような事について意見を出し合い、深め合っています。



~~~~~  
夜には、ホテル鑑賞や肝試しなど、楽しいイベントも行っています！
鈴木さんのお家の一部をお借りして、夜まで皆でお話をして楽しんでいます！
キャンプ経験者の方々からお話を聞くことができる貴重な時間でもあります。
1泊2日のキャンプなので、FIの皆とより仲を深めることができるキャンプです！
興味を持ってくれたらFIのメンバーに連絡してみてください！！ (文責：大川峻右)

福智町キャンプ



福智町キャンプとは、新たに始まった試み…日本版ワークキャンプです。

福岡県田川郡福智町の奥地にある日高将博さん（通称：ジャンボさん）の実家の山を拠点とし、2017年夏、そして2018年夏に“森の音楽祭”と称し、学生主体のイベントを行いました。しかしその主体となったのは東京の国分寺に住むチェルシーハウスの寮生たちであり、FIWC九州が「なに」を行ったかというところ…その森の音楽祭のシンボルとなったツリーハウスの作成です。



ツリーハウスの作成と言っても、私たちだけで作ったわけではありません。元宮大工の赤星さん、赤星さんをずっとサポートしていただいた阿世賀さん、私たちにゴハンを恵んでくださった近所のお姉様方、多くの協力をしていただいた大人の方々がいてこそ完成しました。

○日程

5/4 5/26,27 6/9,10 6/30,7/1 7/14,15

→計5回のキャンプを行って作成！

○ワーク

ツリーハウスの作成

～FIとして関わる意義～

FIのメインの活動は海外キャンプですが、近年の大幅な人数増加によってキャンプに行けなくなる人が増えています。人数制限、海外に行くことに対して親からの反対、金銭面、あと一步の気持ち…理由は様々です。

そんな中、私が出会ったこの福智町キャンプには、海外キャンプへの後押しにも、海外キャンプでの経験が日本でも生かされることにもつながります。また、海外では言葉の壁がありますが、日本ではそれがなくなり、より深くキャンプの面白さに迫ることができます。ニーズ調査を福智町に住んでいる地元の方と話しながら聞いていき、それが私たち学生でも出来得ることかを検討し、計画・実行します。それも、地元の方と共に作り上げていく。私は実際この前の1月から8月にかけてそれを実感しました。

私はもっと多くのひとにキャンプの“楽しさ”を感じて欲しいです!! ☆（文責：井上 梨央）



大先輩方の話を聞く会



○概要

日程：9/17

場所：ゆきとさん宅(FI九州 OB)

9/15-17で鹿児島県の星塚敬愛園を訪問し、小牧おじいちゃん（小牧義美さん）の米寿のお祝いをする予定でしたが、諸事情により中止となりました。

しかし幸運なことに、FIWC 関東 OB で中国の **NPO「家—JIA—」** の設立者である **原田燎太郎さん**、昨年まで JIA に勤め、現在は日本国内のハンセン病療養所で活動していらっしゃる **真子さん**、また昨年まで **NPO 法人わびねす** の副代表理事を務めていらっしゃった **安田亜希さん** が福岡に来られていたので、お話を聞く機会を設けていただきました。

この会の中では、お三方が今どのような活動をしていらっしゃるのか、ということを中心に話していただきました。その後、輪になってワークショップの時間を設け、それぞれお話を聞いて感じたことを話したり、キャンパーはキャンプの中で感じた悩みを打ち明けたりしました。その悩みに対して、お三方からアドバイスをいただくなど、有意義な時間を過ごすことができました。

この会の後は希望者でご飯に行き、さらに深い話をすることができました。また、この会の開催にあたって、FIWC 九州 OB である谷之木勤人さんのお宅を会場として提供していただきました。ありがとうございました。

(文責：永尾昌美)



ワークショップ
の様子

愛生園訪問



○概要

期間:6/30-7/1

場所:長島愛生園 @岡山

参加人数:18名 (FIWC九州委員会10名、FIWC関西委員会7名、namaste!1名)

6/30-7/1にFIWC九州委員会とFIWC関西委員会、namaste!の3団体合同で、岡山県にある『国立療養所 長島愛生園』に行ってきました。現在も愛生園には、約200名のハンセン病快復者の方が療養生活を送っています。

今回の訪問目的は、ハンセン病について知らない人にも、訪問を通して知るキッカケになればと思い企画しました。また今回は、FI関西とnamaste!合同で行ったことで、団体間交流も行うことができました。1日目の夜には、ミーティングを行ないました。そこでは、愛生園に入所されている方との交流を通して印象に残った話や、自分が感じたことを全員で共有しました。みんなの感想を聞いたことで、より一層学びを深めることができました。

最後に、愛生園訪問を通して参加者それぞれが感じ、考えるキッカケになりました。今回の訪問で終わらせず、形はそれぞれ違いますが参加者みんながこの経験を何かしらの形に繋げ、活かしていきたいです。
(文責：吉田知可)

【旅のおもいで】

1日目
園の方のお家訪問
資料館見学
ミーティング



2日目
園内見学

FIWC 九州 前期イベントまとめ



新歓

新歓は新入生が一番最初に参加したイベントです！一年生はなんと43名も参加してくれて先輩方も頑張ってFIの魅力を語っていました！キャンプに行ってみたいという一年生もたくさんいたのでこれからの一年生の活躍に乞うご期待ください！！

報告会

春キャンプの報告をしました！フィリピン、ネパール、チャイナそれぞれのキャンプがキャンプ中に行ったことやその様子を発表し、参加者に共有することができました。例年に増して多くの新入生が参加したこともあり、報告会後の交流会は大いに盛り上がりました。



5月FP@能古島

5月は能古島で行われた国際協力フェスティバルに参加しました！さまざまな団体のブースを回ってお話を聞き、また、「FI九州と他の団体の同じところ、違うところは何だろう」というテーマでワークショップを行いました！風が強い中でしたが、たくさんお話を聞き、たくさん考える有意義な時間を過ごすことができました！

びおパーティー

雨天のためBBQから、びおと一ぷで焼肉&たこ焼きパーティーを行いました。一緒にごはんを食べて交流することで、新入生と上級生との繋がりや新しい友達ができたり、キャンプやFIのことをより知ってもらえた機会になったと思います◎イベントとして実施したビンゴ大会はとても盛り上がり、楽しいイベントになりました



役員紹介



役員任期も残りわずかとなりました。最後に、役員紹介と各役員の後期目標を紹介します！

委員長:ゆう



残り半年間は学祭や報告会また様々なイベントや交流会を企画しています。海外キャンプも国内活動も関係なく同じワークキャンプをしているメンバーが集まる場で、目の前の人と一緒にいれる環境に感謝しながら、イベント参加者みんなが楽しめるような半年にしていきたいと思います。またそのような機会の中で、1人1人が良い出会いを見つけたり、何か考えたり踏み出すきっかけになるような発見があればいいなと思います。役員もその他のメンバーもみんな、全力で楽しみたいです！！

副委員長:いお

委員長のサポートを私なりに頑張る！そしてそれと同時に、私からできるであろう、1年生や2年生の学年の垣根をなくす存在になれるよう励みます。あと半期、FIへの熱い想いを胸に全力で駆け抜けます。



会計:ひなた

FIの活動にもっと参加したいと思うようになったのは、楽しむときは楽しみ、学んだり、アツい話を聞けて、活動が終わるごとに参加してよかったなと思うことが多かったので今度は新しく入ってきた1年生にもそう思ってもらえるように活動にたくさん参加して多くの人と関わっていきたいです。

国内係

げんし



次の半年は自分にとって大学生活最後なので、一人一人と向き合うことが目標です。いい意味で先輩と後輩の垣根を無くしたいし、その中でお互いがFIのこと、自分のこと、将来のことを考えられるとベストです。FIの誰かが言っていました。「結局なんのために生きよるのかとか、全ては愛である。」えふ愛を大切にしたいですね。

ゆうや

前期のイベントは天候不良で中止になりFIの皆にイベントを楽しんでももらえなかった気がします。そこで後期では九大祭や運動会で他キャンプのキャンパーや一年生に楽しんでもらえるようなイベントにしていきたいです。



ゆいこ

後期はFIのイベントが盛りだくさんです！前期の反省を活かしつつ、ひとつひとつ人とのつながりを大切にして取り組んでいこうと思います！みんなが思い出に残るようなイベントになるよう頑張ります¥(^o^)/



まさみ

もう国内係を務めるのも5ヶ月かと思うと、あっという間ですね！前期は天候に恵まれずイベントの中止をせざるを得なかったことも、、、後期は天気も味方につけて(!?)、みなさんが楽しめるようなイベントを企画していきたいと思います。



耶馬溪係



はるか

10月耶馬溪キャンプを成功させる。

たくや

10月耶馬溪が今年最後の耶馬溪なので、しっかり成功させるのと、後期はそれ以外にも活動がたくさんあるので、積極的に参加してイベントを盛り上げたい。



おおかわ

(耶馬溪係、ネパールキャンプリーダー)

耶馬溪がFIへの玄関口になることができるよう、新入生でも楽しめるキャンプにしたいです。また、FIがより学びの場になるよう、積極的に参加をしていきます。



広報係



いこ

私の後期目標は、SNSの更新を通して FIWC 九州の活動を外へ発信し、更に団体として盛り上げていくことです。大好きな FIWC 九州をもっと多くの方に知っていただけるよう頑張ります！

ちか

広報として FI の魅力を外部に発信することはもちろん、役員として、FI の活動に参加してくれる人が FI のことを好きになってもらえるような環境をつくる。



あい

後期の目標は、春に参加するネパールキャンプに向けた活動と広報の仕事を両立することです。広報のメンバー内で負担が偏らないよう、思いやりを持って、できるだけ自分のできることを探していけるように頑張ります。

だいすけ

役員になって早いものでもう半年ですね。偶然と直感に身をまかせてキャンプに参加し、大好きになってしまった FI をもっと色々な人に知ってもらいたい、知る機会を与えたいと思い広報になりましたが、尊敬できる役員メンバーと FI を回すのは最高に楽しいです！しかし、その反面、十分に仕事できてないというのが率直な感想です。残り半年間、主体性を大事に頑張ります！



リーダー

チャイナキャンプ



しばたー

フィリピンキャンプ



げっしー

バンブーフロジェクト



ひな

後期も、FIWC 九州委員会役員をよろしくお願い致します。



『えふあい通信-2018 秋-』

発行日:2018/10/27

発行者:FIWC 九州委員会 広報係

FIWC 九州委員会 SNS、問い合わせ先: ↓

	<Facecok> FIWC Kyushu		<HP> http://fiwckyushu.jimdo.com
	<Mail> fiwcq@hotmail.com		<Twitter> @fiwckyushu